

2025 AUTOBACS SUPER GT ROUND7 AUTOPOLIS GT 3HOURS RACE

NISSAN MECHANIC CHALLENGE RACE REPORT

2025.10.18～19



この活動は下記のパートナー企業様に支えられています。



専門学校 **日産愛媛自動車大学校**

《レース結果》

2025. 10. 18 (土) : 予選日

天候 : 曇り / 雨 路面状態 : ドライ / ウェット

予選は曇り空のもとで行われ、午後 2 時 30 分にはウェット宣言が発令。Q1 ではオリベイラ選手がドライ寄りのコンディションで果敢にアタックし、1 分 44 秒 700 の好タイムで 3 位通過。続く Q2 では平手選手が難しい路面状況の中、1 分 45 秒 614 をマークしたものの、直後に黄旗が出たためそのラップは無効に。結果的に 1 分 48 秒 066 が公式記録となり、#56 GT-R は第 15 位で予選を終えました。

2025. 10. 19 (日) : 決勝日

天候 : 曇り 路面状態 : ドライ

#56 GT-R はオリベイラ選手が序盤から快走し、8 番手まで順位を上げて平手選手に交代。平手選手も接戦を制して 5 番手まで浮上した後、再びオリベイラ選手へ。

最終オリベイラ選手が力走し 4 位でオートポリス戦を終えました。逆転タイトルへ向けて貴重なポイントを獲得し、ファンを沸かせるレースとなりました。



《近藤真彦監督インタビュー》



Q1. チームをまとめる監督という立場でのレースメカニックに求めるものと、1人の自動車ユーザーとして整備士に求めるものに違いはありますか？

A. 過程は違っても最終的にたどり着くところは一緒で。やっぱり安全・安心を心掛け整備するところは、うちのチームのメカニックでもどこのメカニックも一緒なんじやないかと。

Q2. ピットでは真剣な顔をしていることが多いと思いますが、実は普段はこんな性格…というギャップはありますか？

A. ギャップはね、僕は激しいほうだね。激しい。その分、仕事をしているときの集中力みたいなものは高い。だから逆にいうと仕事していないときのリラックス度とかストレスを解消する方法がたぶん、少し人より上手なんじゃないかなって思う。それで仕事のほうはスイッチが入ると人より集中して仕事ができるから、みんなには、なんか、しかめっ面して一生懸命仕事しているように見えているんじゃないかな、ピットでは。だから、自分ではオン、オフがすごく上手く切り替えられているんじゃないかなって思う。オン・オフが上手な人は、僕はいいなと思うけどね。

Q3. エンジンの音と観客の歓声、どちらの音が心を震わせますか？

A. やっぱりこんなこと言うとお客さまには失礼だけど、僕はエンジン音のほうが好きだね。なんかこう自分のエンジンがかかるっていうか、僕の場合は普通の監督とか、普通のレーシングチームのオーナーと違って、コンサートをやっているんで、コンサートの観客の声援みたいなものは自分のパワーにもなるところあるけどね。もちろんそれは45年間コンサートをやり続けて、45年間日本中をまわって、いろんな人の声援を受けて、それをエネルギーにしているってことはすごく大事なことかもしれないけど。なんかもうひとつの仕事のレースっていうところでは、エンジン音がエネルギーになってくるのかな。僕の場合はどっちが欠けてもだめなんだよ。両方ないと。だからファンの人の声援とかの音も欲しいし、エンジンの音も欲しいし、どっちかが欠けちゃうとなんとなくだめになっちゃうんじゃないかなって思うから、両方大事です。

Q4. 愛媛名物の「みかんジュースの蛇口」がピットにあったら使ってみたいと思いますか？

A. 全然使いたいよ！しかも冷えているやつが出てきたらいいね、ぬるいのじゃなくて。ガツツリね。柑橘系がすごいでしょ？あっちって。柑橘系すごい羨ましいよね。KONDO RACINGのピットにあったら、もう、メカニック元気になっちゃうと思うよ(笑)絶対欲しいです！



Q5. 以前放送されたテレビ番組で、オートポリスでは毎年、同じホテルに宿泊されて、「赤牛高菜」を召し上がっていると拝見したのですが、今年も宿泊されていますか？

A. しているよ。今日も料理長が特別に違うものを作ってくれて。ここって人気のホテルだから、逆にあんなふうに僕がテレビに出しちゃうと、もっとお客様が増えちゃって、断らないといけなくなっちゃうから。「大変ご迷惑をおかけしました」って帰ってきたけどね(笑)。でもね、喜んでた。

従業員の人がね、テレビで盛り上げてくれたってことで、お客様はいつも満員なんだけど、仕事へのマインドが「あ、私達はこういうふうに近藤真彦にテレビに紹介されるぐらいのホテルで働いているんだな」っていう気持ちになって、テンションがグッと上がったみたいです。



《ドライバーアンタビュー》

Q1. 予選や本選前の走行前ルーティーンなどを教えてください。

《 平手選手 》

A. そうですね僕は基本、車に乗る前、そのコースのデータをまずチェックして、あとオンボードがあればそれを見て先にイメージをつけた状態から車に乗るようにしていますね。あとは自分が好きな音楽を聴いたりして気分をあげて車に乗るような感じですかね。



《 オリベイラ選手 》

A. なるべく静かな場所でスタートに集中するようにしています。特別に何かをするわけではありません。特にルーティーンというのはありませんが、ただ、できるだけ静かに落ち着いて一人でいるようにしています。



Q2. レースにおいてメカニックは重要な役割をもっていると思いますが、整備士がすごいなと思う瞬間はどのようなときですか？

《 平手選手 》

A. そうですね、整備士というか、メカニックさんがすごいなと思うときは、やっぱり緊急でなにか起きたときの対応力ですね。街中の整備とかだとそういうのって、なかなか起きないと思うのですけど、やっぱサーキットだとね、ちょっとぶつかったとか、緊急あと何分で直さなきやいけないという時間制限のあるなかでの対応力っていうのはすごいなと思いますね。

《 オリベイラ選手 》

A. レースメカニックたちは素晴らしい。タイトなスケジュールの中で作業をしているからね。スケジュール通りに進めなければならないし、特に何かトラブルが起きたり、アクシデントや直前のセッティング変更が入ったりしても時間どおりに車を仕上げなければならない。急いで作業をするとミスが生まれることもあるので、メカニックたちはそれらのプレッシャーに耐えて作業をするトレーニングが必要だ。SUPER GTのチームメカニックでは特にこれが求められる。早く作業するとミスが発生するので時間効率を考える必要がある。この点が、僕がメカニックたちを本当にすごいと思うところだね。



《日産販売会社 TS インタビュー》

愛媛日産自動車株式会社

【 稲葉 智大さん 入社 7 年目 日産愛媛自動車大学校卒 】



Q1. 学生時代、S 耐に参加したとお聞きしたのですが、今回社会人になって参加してピット内の緊張感はどのように感じましたか？

A. ピットの中まで入らせて頂いて作業をしていて、タイヤの脱着や取り付けなど、大事なところをさせて頂いているので、車に愛着も湧きますし、そのあたりは学生で外から見ていたときよりは責任感もまったく違うなといったところがあります。

Q2. 普段の仕事とは違う責任感の中で、今回のレースを通じて成長できたことを教えてください。

A. 単純にレース車両と乗用車で構造も全然違っていて、そこも勉強になりましたし、タイヤの空気調整ひとつ、アライメント調整ひとつ、突き詰めてやればここまでできるのかと、考えさせられるところもありました。これは店舗に持ち帰って後輩指導や自分の研鑽、店舗の業績をアップするために色々と活かせるところがあったかなと思います。

Q3. 今回の日産メカニックチャレンジに参加している学生に一言お願いします！

A. 正直、学生の頃はあまりレースがわからなくて興味もなかったのですが、頑張って一生懸命やっていたら、いろいろわかつてきて楽しくなってきますし、レースも今見えていて面白いなって言うところがあります。一生懸命やっていたら普段の仕事もこういうレースも楽しくなってくるのではないかなって思うので、是非頑張って勉強や仕事もやってもらいたいなって思います。

日産プリンス大分販売株式会社 【 柳田 広輝さん 入社7年目 日産愛媛自動車大学校卒 】



Q1. 普段の仕事とは違う責任感の中で、今回のレースを通じて成長できたことを教えてください。

- A. 一番はチームワークですね。0.1秒争う中に、自分たちも参加させていただいて、どうしてもやっぱりチームワークが無いと0.1秒縮めるだけでも凄い作業だっていうところが一番分かったところなので、そこが一番学べたところになります。

Q2. 今回学んだことをどう仕事に活かしたいですか？

- A. まずはチームワークというところで、基本は声かけだったり、各々自分が何をするのか理解した状態で作業しているので、そういったところを現場に持ち帰って皆と共有できたらと思います。

Q3. 今回の日産メカニックチャレンジに参加している学生に一言お願いします！

- A. 一言でいうと、もう「前向きに皆に声かけて！」ですね。ボソボソと話すのではなくて、基本、みんな優しいと思うので分からないう�があればどんどん質問していく。いざ社会人になっても絶対そこは大事になってくるので分からなければ分からぬ、分かったら分かったって伝えることが一番大事かなって思います。



《学生インタビュー》

～ピット・マネージャー～

【 一級自動車工学科 2年 青木 棕生 】

Q1: 日産メカニックチャレンジに参加したきっかけを教えてください。

- A. 去年も参加して、見ているだけでは分からなかった現地の緊張感のもとで活動することで学校ではなかなかできない経験ができました。そのため今までの自分より大きく成長出来たと感じました。今年は去年の自分よりできることを増やして、更に成長できるようになりたいと思い、今年も応募しました。



Q2. ピット・マネージャーの業務で心掛けたことはなんですか？

- A. 周りを見て判断し、行動することです。レース中はいつ何があるのか分からぬで咄嗟の判断で行動する必要があります。そのため常に周りを見て自分にできることはないかを探していました。

Q3. 日産メカニックチャレンジで学んだこと、感じたことを教えてください。

- A. コミュニケーションをとる大切さです。予選や決勝でも周りを見て行動する必要がありますが、何よりコミュニケーションをとらないと、自分ができる作業が限られてしまします。そのため、しっかりと自分のできる作業がないかを聞き、率先して行動するようにしていました。

～テクニカル領域～

【 一級自動車工学科 3年 阿部 凌我 】

Q1. 今回の経験を学校生活でどのように活かしたいですか？

- A. 作業をしていくなかで一人ではできないことが必ずあるので、積極的にコミュニケーションを取り、出来ることをどんどん増やしていきたいです。



Q2. 日産メカニックチャレンジで学んだこと、感じたことを教えてください。

- A. 今年はリーダーという立場で参加させていただきました。メンバーとも積極的にコミュニケーションを取ることにより、周りへの配慮や統率力が身に付いたのではないかと思います。

【 一級自動車工学科 2年 河合 隼杜 】

Q1. 日産メカニックチャレンジに参加したきっかけを教えてください。

- A. 去年の活動では、先輩たちの行動を見て動くことしかできなかつたので、今年はその行動力を鍛えるために参加しました。



Q2. 印象に残っていることはなんですか？

- A. 最終日で作業したタイヤのカス取りと掃除です。去年は、安全面から作業できませんでしたが、今年初めて触ることができ、グローブ二枚越しに熱さを感じたことが印象に残っています。

【 一級自動車工学科 1年 中村 祥太朗 】

Q1. 日産メカニックチャレンジに参加したきっかけを教えてください。

- A. 実際にプロが働いている現場の雰囲気や道具の使い方、整備士同士の連携などを体験し、学校での実習や就職した後になにかしらの形でこの体験を活かしたいと思い応募しました。



Q2. テクニカル領域の業務で心掛けたことはなんですか？

- A. 任された事は最後までこなし、自分から積極的に行動する事、かつチームの足を引っ張らない事を心掛けました。



～マネジメント領域～

【一級自動車工学科 2年 隅田 翔真】

Q1. マネジメント領域の業務で心掛けたことはなんですか？

- A. お客様に失礼がないような敬語の使い方、お客様が聞き取りやすい話し方やお客様の目線に高さを合わせて接客をするように心掛けました。



Q2. 日産メカニックチャレンジで学んだこと、感じたことを教えてください。

- A. 今回マネジメント領域でのリーダーを経験し、準備の段階から班員をまとめることや積極的に自分から動き班員全員をまとめられるように努力しました。また留学生も2人いたので、わかりやすい日本語で接するなど学校生活で留学生と関わることがあまりなかったのでとてもいい経験になりました。

【自動車整備科 2年 山野 由嗣】

Q1. マネジメント領域の業務で心掛けたことはなんですか？

- A. 初めての参加だったので、まずは他の学生とのコミュニケーションを積極的にとるように心掛け、周りの様子を見ながら、お客様のために自分がどう動いたらよいか考えながら取り組みました。



Q2. 今回の経験を学校生活でどのように活かしたいですか？

- A. 今まででは、授業や学校行事などあまり積極的ではなかったのですが、今回の経験を活かし、いろいろなことに自ら率先して取り組んでいきたいと思います。



【自動車整備科 1年 テッター スエー】

Q1. 日産メカニックチャレンジに参加したきっかけを教えてください。

- A. 整備士としてのスキルを磨いている中で、もっと高いレベルの技術や知識を身につけたいと感じていました。日産メカニックチャレンジは、自分の実力を試すと同時に、多くの学びを得られる絶好の機会だと思い、応募を決意しました。



Q2. 印象に残っていることはなんですか？

- A. 実際のメカニックの方々が連携してテキパキと作業している姿を間近で見られたことが、強く印象に残っています。どんな時でも丁寧で無駄のない動き、そしてお客様のことを第一に考える姿勢に感動しました。自分もこのようなプロ意識を持ちたいと感じ、これから学校生活では、時間を意識した作業や報連相を大切にしていきたいと思います。

【自動車整備科 1年 ズエナイ トン】

Q1. 日産メカニックチャレンジに参加したきっかけを教えてください。

- A. 私の国には、このようなモータースポーツに参加して経験や知識を学べることは非常に少ないです。今回の日産メカニックチャレンジは自分の大好きなモータースポーツでいろいろな経験ができるチャンスだと思い応募しました。



Q2. 今回の経験を学校生活でどのように活かしたいですか？

- A. 日産メカニックチャレンジの経験を活かし、車で行う実習作業や車を触るときは、今よりも自信をもって作業に取り組み、今よりももっとうまくなれるようにやつていきたいと思います。

あとがき（広報部員）

【自動車整備科 2年 岩崎 あづさ】

今年も広報として参加させて頂きました。まず、最初にミーティングで去年の振り返りをし、よかつた点、改善点を話し合い、目標を立てて活動に挑むことができました。リーダーとしてうまく指示ができなかったこともありましたが、相手にしっかりと伝えるといったことを反省点として学校生活や就職先で活かしていきます。

【自動車整備科 2年 大崎 一花】

昨年広報として参加し、今年も同じく広報として日産メカニックチャレンジに参加させて頂きました。今年は経験者が2人いたこともあり、スムーズに進めることができました。事前準備やレース後のレポート作成など、去年同様今年も広報活動は、大変でしたがとてもやりがいのある活動でした。この経験を残りの学校生活、就職してからに活かしていきたいです。

【一級自動車工学科 1年 田中 碧十】

今回初めての日産メカニックチャレンジへの参加でわからないことだらけでしたが、先輩や先生のサポートもあり無事やり遂げることが出来ました。広報の仕事はなかなかスケジュール通りに進めることができ難しく、スケジュールが入れ替わりバタバタしましたが、こういう想定外のことにも対応することにより対応力が身についたと思います。ここで学んだことを学校生活に取り入れ成長し、就職してからにも活かしていきたいです。

【一級自動車工学科 1年 永井 立太郎】

今回初めて、日産メカニックチャレンジに参加させていただきました。初めてやることも多く、戸惑いつつもなんとか最後までやりきることが出来ました。今回の反省として、タイムテーブルの確認不足や、意思伝達の不良など、上手く出来ないところも多かったので、今回の経験を活かして来年また挑戦したいです。



今回の日産メカニックチャレンジの活動が無事終了できましたのも、
KONDO Racing Team様、各パートナー企業様、日産自動車／日産販売会社様のお
かげです。本当にありがとうございました。

